



私達にとって図書館とは何なのだろうか？と考えてみた。文学・美術書などの芸術作品や自然科学から人文科学・社会科学系の広汎な専門書や実用書を通じて、知的感動や知識を与えられている場所、人間の文化的活動そのものを表わしている場所といえよう。そう考えると図書館とは巨大なコンピュータに見えてくる。このコンピュータは使う人間がその内部に入つて、得られる情報を直接手にとって選べるという素晴らしい特性を持っている。しかも得られる情報量は大きく奥の深い内容となる

「医療知識を得るための図書館利用」

と考へてみた。文学・美術書などの芸術

作品や自然科学から人文科学・社会科学

系の広汎な専門書や実用書を通じて、知的

感動や知識を与えられている場所、人間の文化

的活動そのものを表わしている場所といえよう

そう考えると図書館とは巨大なコンピュータに

見えてくる。このコンピュータは使う人間がその

内部に入つて、得られる情報を直接手にとって

選べるという素晴らしい特性を持っている。しか

かも得られる情報量は大きく奥の深い内容とな

ている。

医療に関する知識は、私達の生活にとりわ

け役に立つ情報であらう。自分が病気になった時

場合は勿論、家族や友人が病気になった時に

も、大変気になる情報である。これらの医療

情報は直接主治医から伝えられるものが最も

重要で有効なのは云うまでもない。医療の現

場では、近年特に患者さん、御家族への十分

な説明が求められ、インフォームドコンセントに

基づく医療が期待されている。しかしながら限

られた時間内での医師の説明は全てを云いつく

すことはできず、患者さんにとつても充分納得できないまま、不安を抱えて治療を続けることになる場合がある。

近年の疾病構造をみると、高血圧や高脂血

病、糖尿病などいわゆるメタボと云われる疾患

や、脳血管障害や心臓病、がん、肝臓疾患、

腎臓病などいずれも慢性的の病気で、生活習慣

と深い係りがあり、一生涯病気とつきあってい

かざるを得ない。この場合、患者さんが自分の

病気にいってそれなりの知識をもつことが良い治

療を続けるのに必要な条件となる。

病気についての知識を得るのに、中広い内容の本が大量にある図書館を活用することは大

豊島区立中央図書館報

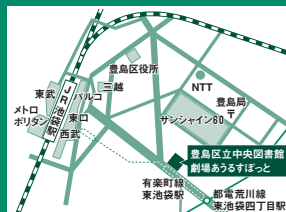
と し ょ か ん つ う し ん 図 書 館 通 信

第12号/隔月刊
2009

トピックス

- 巻頭言「医療知識を得るための図書館利用」菅谷眞・・・1ページ
- 新航路「図書館満足度調査を実施しました」・・・1ページ
- 生涯の「冊」『奥の細道』宇野浩二・・・2ページ
- 区内6大学図書館の紹介「東京音楽大学」・・・3ページ
- お店探訪・豊島区伝統工芸・・・3ページ
- 地域研究ゼミナール募集のお知らせ・明治女学校百年・・・4ページ

R100
全紙版色数100%再生紙を使用しています



新航路^[11]

「図書館満足度調査」を実施しました。

豊島区立図書館では、今年2月に「図書館満足度調査」を実施しました。以下、概要をお知らせします。詳細につきましては図書館ホームページ、各図書館にある調査結果をご覧ください。

1. 調査目的

今後の図書館サービスにおける利用者ニーズの把握

2. 調査対象

豊島区立図書館来館者

3. 調査票の配布、回収方法

各館で調査票を手渡し、回収箱を設置し回収した。

4. 実施期間

平成21年2月14日（土）～2月22日（日）
各館ごとに平日2日、土・日2日、計4日実施

5. 配布枚数と有効回収枚数

配布枚数 2,163枚 有効回収枚数 1,732枚

6. 主な設問と回答内容

(1) あなたのお住まいは？

豊島区内 66.8% 豊島区外 33.2%

(2) 図書館を利用される頻度は？

①ほぼ毎日 5.6% ②週2～3回 23.7% ③週1回 22.9%

④月数回 28.2% ⑤その他 19.7%

(3) 図書館を利用する主な理由は？

①貸出・返却 47.6% ②読書（新聞・雑誌・図書）26.8%
③持込資料での学習 17.3% ④その他 8.3%

(4) 図書館に対する総合的な満足度について

①非常に満足 23.7% ②やや満足 37.9%
③普通 29.3% ④その他 9.1%

(5) 開館日数及び開館時間について

①非常に満足 27.5% ②やや満足 27.1% ③普通 28.1%
④やや不満足 13% ⑤その他 4.4%

(6) カウンター職員の対応について

①非常に満足 35.5% ②やや満足 29.7%
③普通 27.1% ④その他 7.8%

(7) 閲覧席数について

①非常に満足 9.8% ②やや満足 17.5% ③普通 29.1%
④やや不満足 26.8% ⑤非常に不満足 13.5% ⑥わからない 3.4%

区外にお住まいの方が全体の33%という結果に、豊島区という地域特性が表れているようです。また、来館者の半数が週1回以上利用し、貸出・返却、読書に利用されています。総合的な満足度としては、普通も含めて90%の方に評価をいただき安堵するとともに、今後より一層引き締めて図書館サービスの向上に努力してまいります。現在のところ単純集計ですが、さらにクロス集計を行い皆さまのニーズの把握に努めます。

Current & Encounter

「愛書家の楽園」

豊島区図書館行政政策顧問

粕谷 一希

昨年十月、白水社から出版された『図書館―愛書家の楽園』は、実に洒落た本である。著者のアルベルト・マンガレはアルゼンチン生まれ、外交官だった父に従って、テルアビブなど諸所の土地に住み、スペイン語、英語、ドイツ語をマスターし、流暢に話せるようになったという。一九六〇年代、アルゼンチンに軍事クーデターが続き、彼は故国を離れ、七〇年代はフランス、イギリス、イタリア、そしてタヒチと放浪生活を送り現在フランスに住み、彼の家には三万冊の蔵書があるという。逆境を生きて却ってその多様な環境の面白さを活用して、自由な想像力を育てたようだ。本を書く傍ら、幾つかの雑誌に定期的に寄稿しているという。この書物も、図書館の多面性を、神話、秩序、空間、権力、影、形体、偶然、仕事場など、様々な角度から考察し、これまでになかった独特な図書館論となっている。

ただ、副題の愛書家の楽園は、訳者がつけた副題で、原著は「The Library At Night」なの。訳者ご自身にお会いして確かめたところ「著者の意を汲んで、副題を工夫した」とのこと、まさに名訳で、この書物が生きている。そのせいかよく売れていて版を重ねているようだ。まさにこのような工夫が、図書館関係者全体に必要なのだ。

図書館は愛書家のためのものであり、また愛書家をつくり出してゆく場所である。愛書家同士は、出会って数十分、話し合えば、相手の好みの書物がわかり、会話ははずんで想像力が深まる。そこで生まれるイメージは、何にも増して楽しい世界のはずだ。われわれは、その楽園で想い、遊ぶことで、他では得られない、この世の宝を掴むのだ。

菅谷眼科医院 院長 昭和18年豊島区生まれ。北海道大学医学部卒。東京大学、同愛記念病院などの勤務を経て昭和59年同医院を継承する。眼科専門医。平成19年4月、豊島区医師会会長。大塚で地域密着の眼科医院を続けて100年、患者さんとのコミュニケーションを重視した診療で厚い信頼を得ている。趣味は読書。

生涯の一冊
(11)

著者 山中峯太郎
発行 傑講談社

『巣鴨百選』編集長
傑ミュー・アド・センター 代表取締役
宇埜 正純



『巣鴨百選』を制作しているといえれば地元の人はおわかりであるが、本業は植物関係図書の執筆・出版である。また、世界人類の安全・安心をもたらすライオンズ活動に参加している。

「平和のための戦争はありっ」
「我が日本は武の国である。畏くも、神武天皇は武をもつて我らの祖国を建て給うた。」
「武」とは何か。字に示す如く、戈を止めることだ。戦いを無くするのが「武」である。我が日本の武俠精神、大和魂は平和を愛する。聖なる草薙の御剣は、血を見たことがない。即ち武俠の皇国日本は、平和の曙が世界に、殊に亜細亜に光を照らすことを望む。」
この一文は、小説『亜細亜の曙』の筆者、山中峯太郎による同書の「序」の冒頭である。
内容は祖国愛に燃える熱血児、本郷義昭が盗まれた日本の重要機密を追って上海から中国山中へ。日本征服を狙う某国の本拠、巖窟城に潜入するという手に汗にぎる物語。

これは父の蔵書の一冊で、夢中になって本郷義昭になりきって読んだものだ。樺島勝一の挿し絵もすばらしい。
話の中で空中戦には無線誘導ミサイルが飛び交い、エネルギーには太陽光発電が登場する。が、一番印象に残ったのは、同様に潜入したインドの王子との指文字の会話。それがスクリーンに映しだされ、腕が紙に代り、指がペンになって会話が書かれていく。シンである。この本が執筆されたのは80年前、昭和の初めだから驚きである。
この本郷義昭シリーズは「大東の鉄人」、「太陽の凱歌」の3部作。単行本として講談社が出版したのは昭和7年である。今、復刻版で読み直しても、あの子供の頃の「血沸き肉踊る」思いは同じである。
それにしても「戦争と平和」は人類永遠のテーマであることを、今の時代にとても痛感する。と同時に、子供の教育の重要性を認識するところである。

巣鴨図書館が薦める

「感動の旅に出たくなる本」



書名 『須賀敦子のミラノ』
著者名 大竹昭子(文と写真)
出版社 河出書房新社
所蔵館 中央・駒込・目白

『ミラノ 霧の風景』や『コルシア書店の仲間たち』で知られる須賀敦子が見たミラノを、彼女の作品を手がかりに美しい写真と簡潔なエッセイでたどる本書。旅を通して見えてくる須賀の生き方に、須賀作品を読んだことのある人には一層味わい深く、また読んだことのない人にも見飽きることのない一冊となっています。



書名 『いま生きているという冒険』
著者名 石川直樹
出版社 理論社
所蔵館 中央・巣鴨・池袋・目白

中学二年生の時に初めて一人旅をして以来、数々の旅をし世界最年少の七大陸高峰登頂達成した著者。そんなすごい旅をしている著者が冒険について語っています。

「現実は何を体験するか、どこに行くかは重要ではなく、心を揺さぶる何かに向かい合っていることが一番大切。」と。一冒険とは偉業ではなく、身近なところにもあると気付かされる1冊です。



児童向け

書名 『光の旅 かげの旅』
著者名 アン・ジョナス/作
内海まお/訳
出版社 評論社
所蔵館 中央・巣鴨・上池袋・池袋

とある一日の出来事。明け方、車で家を出発し、街に出かけます。白と黒の対比が美しい絵本です。

最後まで読んだら、アッと驚く事が待っています。大人も楽しめる、読み聞かせにピッタリの一冊です。



ボランティア紹介

図書館でボランティアとして、また自主的に活動されている皆様をご紹介します。

巣鴨親子読書会

今回は、「巣鴨親子読書会」の紹介です。代表の柳川昌子さんに、お話を伺いました。「巣鴨親子読書会」は昭和47年に発足し、今年で37年目を迎えるとても歴史のある読書会です。親子読書会で現在も活動が続いているのは、池袋親子読書会と巣鴨親子読書会だけです。現在の主な活動場所は、区内の小学校や区民ひろばなどに広がり子ども向けの本や工作を、集まった親子で楽しんでいます。

これまでの活動のなかでは、手作り絵本の作成が印象に残っているそうです。一人ひとりが物語りを考え、挿絵や文章も自分で作り上げたものは、何ともいえない満足感、充実感があるそうです。しかし、近年は子どもの数の減少や、テレビゲームなどに代表される趣味娯楽などの多様化で読書会の会員が少なくなっていることが悩みの種とのことでした。

柳川さんは言います。「親子での読書、読み聞かせ

は子どもの健やかな成長だけではなく、親も成長させる。」と。活字離れが叫ばれるなか、親子で一緒に本を読む時間をつくってみてはいかがでしょうか。新しい何かが発見できるかも知れません。

今回は、巣鴨親子読書会をご紹介します。なお、5月31日(日)には中央図書館児童コーナーで巣鴨親子読書会による話し会が開催されます。3歳くらいから小学生までが対象で、保護者の方も一緒にどうぞ。皆さまのご来館をお待ちしています。



子どもの読書に関する講習会 受講生募集

対象に沿った読み聞かせについてのあれこれと、小学校中・高学年に向けたおはなし会実践の一例



内容 最近の絵本の中から対象に合わせたお薦めの作品をご紹介いただくと共に、小学校中・高学年に向けたおはなし会の実践を通して、子どもたちにおはなしすることの楽しさと意味を西村敦子さんに学びます。

講師 西村 敦子(にしむら あつこ)氏

*NPO図書館の学校創設に関わり、事務局長として特に公共図書館、学校図書館、児童書に関わる企画に従事。退職後、中学校や知的障害児学級などで、おはなし・読み聞かせを行う。現在、親子読書地域文庫全国連絡会世話人。私設図書館『沙羅の木文庫』主宰

●日時 平成21年7月3日(金) 午前10時30分～12時30分
●会場 あうるすぽっと 会議室B(池袋4-5-2 ライズアリーナビル3階)
●費用 無料
●募集 70名
●対象 豊島区内の幼稚園、小学校、児童館など教育、福祉施設での読み聞かせボランティアをしている方。また、子どもたちに向けた読み聞かせに関心のある豊島区民の方

●申し込み方法

6月10日(水)より 中央図書館カウンターまたは電話で申し込み(先着順に受講生決定。定員に達し次第、締切)

区内6大学図書館の紹介「東京音楽大学」編

閑静な雑司が谷の杜に、2007年の創立100周年に都市型音楽大学の先端校舎が新たに完成した東京音楽大学は、日本で最も古い歴史をもつ私立音楽大学です。現在、声楽専攻をはじめとする4つの専攻の音楽学部と大学院音楽研究科があります。また、海外の音楽大学との提携など豊かな国際交流が特徴です。在学生の約8割が利用している大学図書館では、楽譜、音楽書、CD、映像資料などの充実した資料があり、多くの学生のための音楽学習・音楽研究の一翼を担っています。

特 色

- 図書館2階のAV鑑賞室は、映像資料が鑑賞できる34の専用ブースを備えています。
- 大正時代・昭和初期に刊行された総合音楽雑誌のマイクロフィルムや昭和16年に発行された「音楽文化新聞」などの貴重な資料があります。

蔵書数と特徴

- 大学図書館は、約5万冊の楽譜や3万点の録音資料、海外の音楽雑誌を主とした790タイトルの雑誌があります。
- 音楽図書及び楽譜は、独自の10分類（音楽史、楽器・器楽、声楽曲など）になっています。

利用方法

- 豊島区民であり、国会図書館、都立図書館、都内公立図書館に所蔵がなく、研究を目的とし、利用したい資料を特定している場合は、豊島区立図書館に利用申請（一定の利用資格がありますので、事前にお問い合わせください）ののち、発行された紹介状を持参の上、大学図書館館内での資料閲覧ができます（録音資料・映像資料の利用はできません。また、楽譜の複写は不可です）。



大学図書館入口 地上5階の建物



100周年記念本 正面入り口

図書館PR

- 音楽知識豊富な図書館職員によるレファレンスで、新たな音楽資料を発見することができます。
- 図書館蔵書検索システムの講習会や図書館職員が授業に出向き、データベースについての学習を行うなど、学生の図書館利用において役立っています。



上：明治29年出版のちりめん本『さかさまの国日本』
下：明治34年出版のちりめん本『土土節』
(いずれも大学図書館所蔵)



東京音楽大学付属図書館

- 住 所：豊島区南池袋3-4-5
- 電話番号：03-3982-2120
- U R L：http://www.tokyo-onandai.ac.jp/library/
- 交通案内：JR「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩15分
副都心線「雑司が谷駅」1番出口より徒歩3分
都電荒川線「鬼子母神前」より徒歩5分
都営バス「東京音楽大学前」下車徒歩3分



豊島区伝統工芸

豊島区伝統工芸保存会会員の皆様をご紹介します。



江戸提灯

早川 福男さん

◆心の豊かさを求めて

都電荒川線の鬼子母神前駅から徒歩約10分、住宅街に入る角を曲がると、江戸提灯 早川福男さんの工房がある。

早川さんは、19歳のときにこの世界に入り、以来30年間提灯を作り続けている。平成14年に板橋区からこの雑司が谷の地に店を構えた。

製作手順は、色付け前の提灯を「つぼり」という棒で張り、面相という細い筆で文字を書き、絵の輪郭を描く。輪郭ができると太い筆を使い、水性の塗料で色付けをする。使う筆も、馬や鼯の毛で作られたオリジナルの筆を使うこともある。

苦労されているのは、文字を書くことである。まったく同じ文字は一度と書けないので、常に同じような文字を書くよう心掛けています。また、提灯の良さは、見ていると落ち着いた気分になり、「和み」「癒し」を実感することである。

仕事の傍ら、豊島区伝統工芸保存会の活動を精力的に行い、伝統工芸のPRに努めている。保存会では5月20・25日まで所沢西武百貨店で展示会の実演販売を行う。このような活動の間は、工房での製作ができず、本来の仕事が進まないことも多い。しかし、伝統工芸を世間に知ってもらうためには、積極的にPR活動をしなければならぬ。

「今の時代、日本人は心にゆとりがなく、趣味に没頭できる時間も少なくなっています。伝統工芸に興味を持ってもらうためには日本人の心の豊かさ、生活の豊かさを取り戻していただく必要があります。」とおっしゃる早川さんの真剣な眼差しが印象的であった。



お店探訪 ～甲州屋～

店主 廣瀬 雅さん



「雑司ヶ谷の地で生まれた歴史」

雑司ヶ谷霊園に向かう文学散歩の通り道「東通り」に甲州屋はあります。新宿大久保で修行し、暖簾分けを受けた先代が、大正十五年、この雑司ヶ谷の地に生そば甲州屋として開店し八十余年、現在、二代目、三代目夫婦で暖簾を守っております。

昭和十八年頃から戦争が激しくなり営業も配給制になったため、一時閉店してしまいました。昭和二十年四月十三日の戦火で店舗は焼失。戦後、先代が昭和二十二年一月に死去し、一時、別の仕事をしていましたが、昭和二十六年、母を頼りに現在の東通り商店会の一 corner、昔からのお客様に応援していただきながら営業を再開いたしました。

営業を再開した頃はまだまだ物不足でした。しかし、粉食券持参の商いであったため、毎日繁盛をきかれておりました。日を追うごとに豊かになり、バックビルディングから昭和三十一年、二階建ての店を建築、平成になり、区道路拡幅事業で前面の一メートルを削られるのを機に五階建てのビルを新築しました。

近くに雑司ヶ谷霊園、お寺もあるため、地下に法事や集会、宴会のできるカラオケ付きの宴会場と一階にはテーブル二卓の畳席と十人かけテーブルの椅子席を設けております。

また、店内の壁には季節に合った絵を掛けお客様をお迎えしております。お店の自慢としては、平成四年に都知事優良店舗、続いて平成七年には厚生大臣表彰をいただきました。

これまでの恩返しとして町会長をさせていただきます。現在は、豊島消防団団長としてがんばっております。当店の自慢は昔ながらのカレーうどんとセット物です。これからも真心こめたものを作り続けたいので、皆様のご来店をお待ちしております。

明治女学校百年

伊藤 榮洪

「明治女学校」記念展 こぼれ話

清水紫琴・古在由直の孫(古在由秀氏夫妻)

最初、その紳士は、「清水です」と名告られた。「清水」といえば、明治女学校関係では清水紫琴がすぐ思い浮かぶ。紫琴の結婚した相手は古在由直。すると、目の前の紳士は……。「古在さんですか」とうかがうと、すぐ「はい、古在です」と言われた。「古在」ではなく、祖母の旧姓の「清水」を名告られたのは、記念展が「明治女学校」なので、その関係の方を重視されたのだろう。名刺には古在由秀、とあった。東京天文台長などをつとめられ、東大、国立天文台の名譽教授、学士院会員の天文学者で、夫人同伴で来られたところだった。

紫琴は、本名豊子。『女学雑誌』の記者として、教員として関わった。『こわれ指輪』などの小説の創作で文名を挙げたが、若い日から、男女平等の信念を持ち、一夫一婦制の完全な実現を求める女権拡張論者として知られている。そんな紫琴のすがたを、由秀氏はざっくばらんな言い方で、こんな話をされた。

「一夫一婦制、ということ、あるとき法律改正で一夫多妻になる、という話が伝わってきたことがあって、彼女はそれに対しすぐ筆を執って、それなら一妻多夫も認めるべきだが、男性はそれを許容できるのか、とい

う文章を公けにしています。この法律改正は実際は無かったのですが、本当に怒っていたんです。信念として許せないことは断乎たる態度をとる人でした。」

明治女学校には社会正義を求める空気が満ちていて、それが紫琴をこの学校に近づけたのだらうとも言われる。

由直は、東大総長として関東大震災後の東大の復興に尽力された人だが、科学者として真理に基づく行動で信念の人でもあった。紫琴は彼の農科大学(東大農学部)の助教授時代に知り合うが、足尾銅毒事件の折に、実験を繰り返して稲がカドミウムに汚染されていること、その原因は会社側にあることを立証したのだ。これは、この事件を追求して衆院議員をやめ、明治天皇に「直訴」という行動までとった、田中正造の孤独な闘いを、科学的真実で支えたものだった。紫琴は由直のこうした誠実に魅かれたのだろう。

会場には、「田中正造に学ぶ会」の方々もよく来られ、由直の業績を高く評価していたが、正造の養女タケが東長崎の「愛の家」を支持して、献金していたという話もあった。

なお、紫琴は相馬黒光の叔母の佐々城豊寿の家にいたことがあり、「美しい人だった」とその印象を黒光が書きのこしている。(文中敬称略)

地域研究ゼミナール 受講生募集

豊島区に關係の深いテーマについて、図書館の資料を活用し学びながら、自分の研究テーマを探すゼミナールを開講します。

第七弾は「豊島区の群像3」
— 時代を強烈に生きた人たち —
(全5回)

講師 豊島区図書館専門研究員 伊藤 榮洪(いとう えいこう)氏

日程 第1回 7月16日(木)「田沼意次」
第2回 8月20日(木)「福田英子」
第3回 9月15日(火)「フィールド・ワーク」
第4回 10月15日(木)「岡倉天心」
第5回 11月19日(木)「巖本善治」
いずれも午前10時～12時

会場 中央図書館会議室

費用 500円(資料代、フィールド・ワーク傷害保険料等)
※会場への交通費、フィールド・ワークの交通費等は各自負担です。

募集 30名

※ゼミナールの受講を希望される方は、右下の申し込み方法をご覧ください。

図書館からの
お知らせ

伊藤 榮洪氏

図書館イベント情報

各図書館の連絡先

□駒込図書館 3940-5751

□上池袋図書館 3940-1779

□目白図書館 3950-7121

□中央図書館 3983-7861

□巣鴨図書館 3910-3608

□池袋図書館 3985-7981

□千早図書館 3955-8361

◆児童・あかちゃんおはなし会

毎週、おはなし会を開催し本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来てください。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント	
	幼児・小学生	あかちゃん	5月	6月
中央図書館 児童コーナー	日曜日 午後2時	最終日曜日 午前11時	★3日・おはなしこうさく会 午後2時 ★31日・巣鴨親子読書会によるおはなし会 午後2時	★7日・おはなしこうさく会 午後2時 ★21日・池袋親子読書会によるおはなし会 午後2時
駒込図書館 (駒込地域文化創造館)	土曜日 午後3時	—		
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時	★27日・すがもこどもえいがかい 午後3時 「ミッキーマウスとフルート」(10分) 「たぬきの糸車」(12分)	★24日・すがもこどもえいがかい 午後3時 「あかすきん」(19分)
上池袋図書館 おはなしのへや (※は地下ホール)	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時※	★27日・さくらんぼえいがかい 午後3時(※) 「雨をふらせる小熊くん」(22分) 「ミッキーマウスのバンドコンサート」(10分)	
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 午後2時	—	★23日・たんぼえいがかい 午後2時 「うかれバイオリン」(20分) 「雄牛のフェルナンド」(8分)	★27日・たんぼえいがかい 午後2時 「ゴマちゃんの交通安全」(15分) 「1人ぼっちの狼と7ひきの子やぎ」(18分)
目白図書館 地下区民集会室	水曜日 午後3時	第1水曜日 午前11時	★27日・めじろこどもシアター 午後3時 「くまのずーフ」(18分)	★24日・かきくけこうさくかい 午後3時 絵本などの読み聞かせと工作
千早図書館 視聴覚室	水曜日 午後3時30分	水曜日 午前10時30分		

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

◆千早進歩自由夢・出張研修会「武者小路実篤記念館を訪問」

申込不要。当日、集合場所に直接お越しください。

日時 6月20日(土) 午後1時
集合場所 東京メトロ有楽町線 千川駅改札集合
会場 調布市武者小路実篤記念館
午後2時～4時

*参加費は不要です。交通費及び入館料200円については、個人負担となります。

武者小路実篤記念館を訪問して、学芸員から講演をいただく予定です。

また、これに先立ち5月16日(土)の月例会では、実篤について、豊島区図書館専門研究員の尾崎眞人氏による「白樺派」の初級者向けの講演会を実施しました。

講演を受講された方や白樺派の文学・作家に興味のある方はふるってご参加ください。

特別整理休館のお知らせ

図書館名	休館日
駒込図書館	5月13日(水)～5月18日(月)
千早図書館	5月20日(水)～5月25日(月)
池袋図書館	5月27日(水)～6月2日(火)
巣鴨図書館	6月3日(水)～6月8日(月)
上池袋図書館	6月10日(水)～6月16日(火)
目白図書館	6月17日(水)～6月22日(月)
中央図書館	6月22日(月)～6月29日(月)

左記の日程で休館になります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

図書館カレンダー

○は土日祝
■は休館日

中央図書館

駒込・巣鴨・上池袋・池袋・目白・千早図書館

雑司が谷図書貸出コーナー

開館時間

開館時間

開館時間

平日 午前10時～午後10時

平日 午前9時～午後7時

平日 午前10時～午後7時

土日祝 午前10時～午後6時

土日祝 午前9時～午後5時

土日祝 午前10時～午後5時

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

5月

6月

編集後記

1頁の巻頭語で触れている医療知識を得るための図書館利用に関しては、すでに都立中央図書館で健康・医療情報コーナーを設置して積極的な取り組みをしています。区民にとって、より身近な区立図書館こそ健康・医療情報サービス提供のための取り組みをしなければならな

申し込み方法

※ 重複して応募された場合、2枚目以降は無効です。
※ 応募者多数の場合は抽選となりますので予めご了承ください。
※ いずれも申込期限後1週間程度で当落の通知をします。

1 復便はがきに①～⑤を記入し下記送付先へお送りください。
(はがき1枚につき1件の申込みをお願いします。)

①ゼミナール名「豊島区の群像3」 ②郵便番号 ③住所
④氏名(ふりがな) ⑤電話番号

◆申込期限: 6月25日(木) 消印有効

◆送付先: 〒170-8442 豊島区東池袋4-5-2

ライズアリーナビル5階 中央図書館 企画調整グループ

2 電子申請でも受け付けます。

豊島区ホームページアドレス <http://www.city.toshima.tokyo.jp/>